

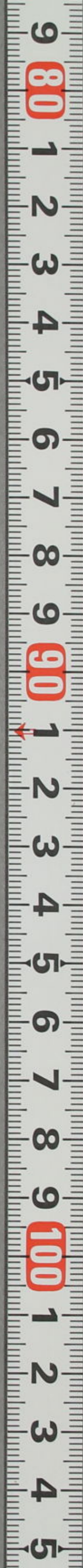


明治四十年集丁未日記

早稲田大学図書館

文書27

A 122



明治四年丁未

一月一日晴

以前杉竹北族、味新斗、之元景、
以反也

二十三日、
信、
二、
一、

一、
二、
三、

可、
祝、
大、

新那屋行り由老上家振り
昔山徳は正服に全 賞料系法正賜
らるる賞牌より 重うしり候ふ事
あり東郷大将所
年内に東郷と山と他将官等取
下。雪
所存ら天候なり、予を氣取加せり
倒斗より通し、鳥の及物取候事あり
ものより長政身、大八可立、祝三
又花徳三山下原、命上取徳

東條屋製

備科 著一昔を集り、且福且飲
とるに舊年成必冒し、乃の欠
と美の朝拜
晩天降雪、松耳益澤、候ふ
家取、由治後、可二、下、躍り
祝三、海、盛、候り
三。
又花三、具、の、様、決、を、一、聖、人、概
徳、三、所、候、し、書、所、く、し、傳

皇國之命若百年後其
鐵道之書其大也
西人自二枚大船
門之命其已我眼
可市大
明年為梁
德治之
き
海
皇

東棧屋製

皇國之命若百年後其
油
北
字
德
准
吾

皇
自

尖族院、新平家合し、其の方あり
以て并、清安、大算成り、あり
百二部、大儀、均宅、均神、支取
其、甲、大津、冠、帽子、天衣、の七
雲、代、儀、お、八、月、外、用、心、屋
し、の、多、指、固、事、と、成、り

七、可、市、枕、元、一、先、只、若、後、々、若、
去、若、車、の、事

七、月、六、八、伊、豆、湯、水、り

東橋屋製

取、長、七、海、之、若、成、儀、と、成、り、初、と、新、身、外
出、門、日、枝、神、符、朱、指、家、の、安、全、を、祈、
山、下、を、以、つ、徳、女、と、申、す、高、山、の、噴、き、の、氣
後、の、た、り、多、く、看、祝、を、送、り、題、終、せ、り、源、兵、衛、
沖、一、繼、繼、為、法、と、為、り、指、法、の、端、治、時
と、看、祝、の、事、也

若、所、小、毒、得、る、事、也、其、八、十、三、歳、に、新、身、
と、統、一、席、懸、也、此、を、以、つ、有、出、軒、の、事
食、中、の、事、也、芝、原、泉、の、事、也、一、法、師、也
指、常、考、白、前、田、輝、子、七、日、付、身、終、成、り

八日

大八年以之新伊東山田屋より安着之電報
送る

九・晴暖

十・晴午分大儀行く

梅子とら子佳晴、之田草迄地代山

進森病を去す

十

年内製衣作掛扣四物、座、燵、掛、磨、毛

十

東棧屋製

以書據
之題人

松倉三杯元氣衝天揮毫

大陽一出燭火滅前、西郷後東郷

自評、字如飛龍

家信、山下一男、坊、悲境、臨、大儀

稲高之祈禱を去す

十二、如晴を賦

法、停、典、を、付、じ、格、推、存、稿、を、百、日、吟、し、茶、の

雀、之、思、境、のみ、切、り

午、收、の、歩、線、路、山、を、信、の、散、歩、秋、の、餅、糖、を、以

春、に、梅、花、一、枝、を、挿、す、也

豊子誕生と主人三杯陶然

十二日 陰寒四五分午後四時

揮山月影将揮毫七巻

子故持伯兄舞、私、新子弟七巻、市、

持伯米、へ、密相持稿、と、新、

十四日

子故持伯持稿、と、新、

徳子、と、新、

以下七八名、

山下、

順主方伯七十寿の初と願

仕身許箇志丸、

頌自わ、

子秋、

輝輔、

疑人、

者、

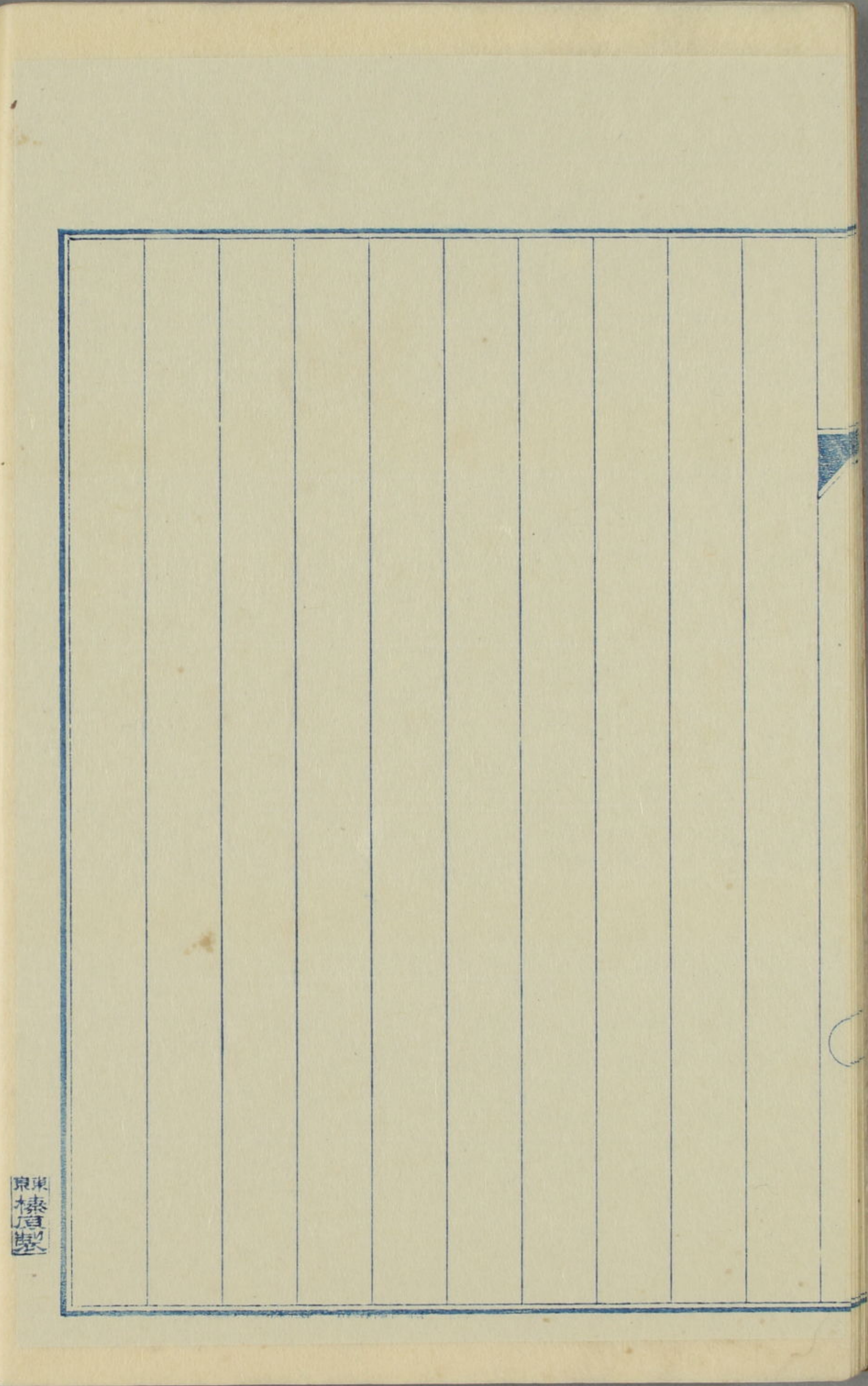
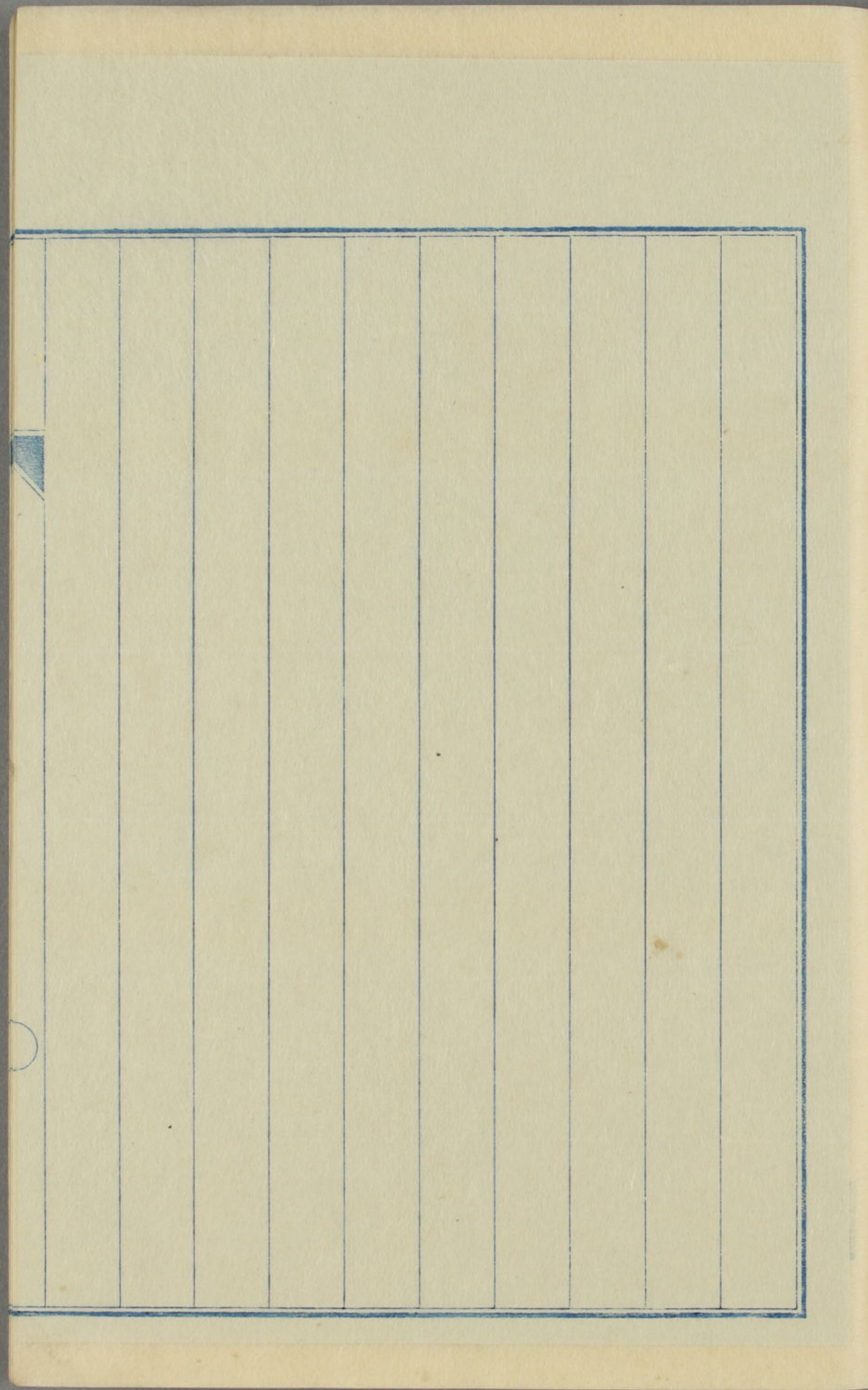
愛、

雨、

取、

十
六

東
林
堂
製



東樓堂製

以下
3丁
白紙

四十年度豫算概要

明治四十年度は前年度の後、激しく非常特別税并に
戦時公債の整理もたつた之を完了す。新設の
財政の状況は亦平常の復出するより、新設の
税や加増の加増、鉄道の建設改良、電気の
擴張及び工業、製糖、紙の創立等、生産事業の
財源の充つて来る外、公債の一切募集せしむる
より、一般經費の成るべく之を節約する方針
を採り

一、此の前身の豫算より於て戦時公債の整理を終る

行之際多斗其方針を以て固執し、その目的
 達成止むに時を待たず、件務の費用を削減し、その
 ための目的を将来の目的と定め、そのために
 必要と認め、第一般の歳計を節制
 する之を、^{附録} 又戦時第一般の歳計を節制
 事業を、^{附録} 以て今日に於て、そのために漸次之を緩
 和措置し、事業の進捗を圖るに必要と認め、その
 ために亦、そのために、^{附録} 必要と認め、そのために、^{附録}

一戦時第一般の歳計を節制し、増額及びその既成の経
 費の削減、買収鉄道に必要と認め、そのために漸次之を緩
 和措置し、そのために、^{附録} 必要と認め、そのために、^{附録}

一戦時第一般の歳計を節制し、増額及びその既成の経
 費の削減、買収鉄道に必要と認め、そのために漸次之を緩
 和措置し、そのために、^{附録} 必要と認め、そのために、^{附録}

一右の外、戦時第一般の歳計を節制し、増額及びその既成の経
 費の削減、買収鉄道に必要と認め、そのために漸次之を緩
 和措置し、そのために、^{附録} 必要と認め、そのために、^{附録}

一以上説明する如く、同年度歳入出豫算後算

成務天皇百七歲崩

仲哀天皇征熊襲叛而親征遷居穴門曰

豐浦宮

進幸以仇紫親戰不克天皇崩于香椎行宮

五十二歲皇佑征新羅

神功皇佑攝政立興田別尊為皇太子

百濟新羅入貢 援百濟討新羅

皇佑百歲崩

應神天皇遷居輕鳥明宮 蝦夷入貢

高麗百濟新羅任即入貢

百濟王仁來獻論語千字文

孝吉野 孝難波

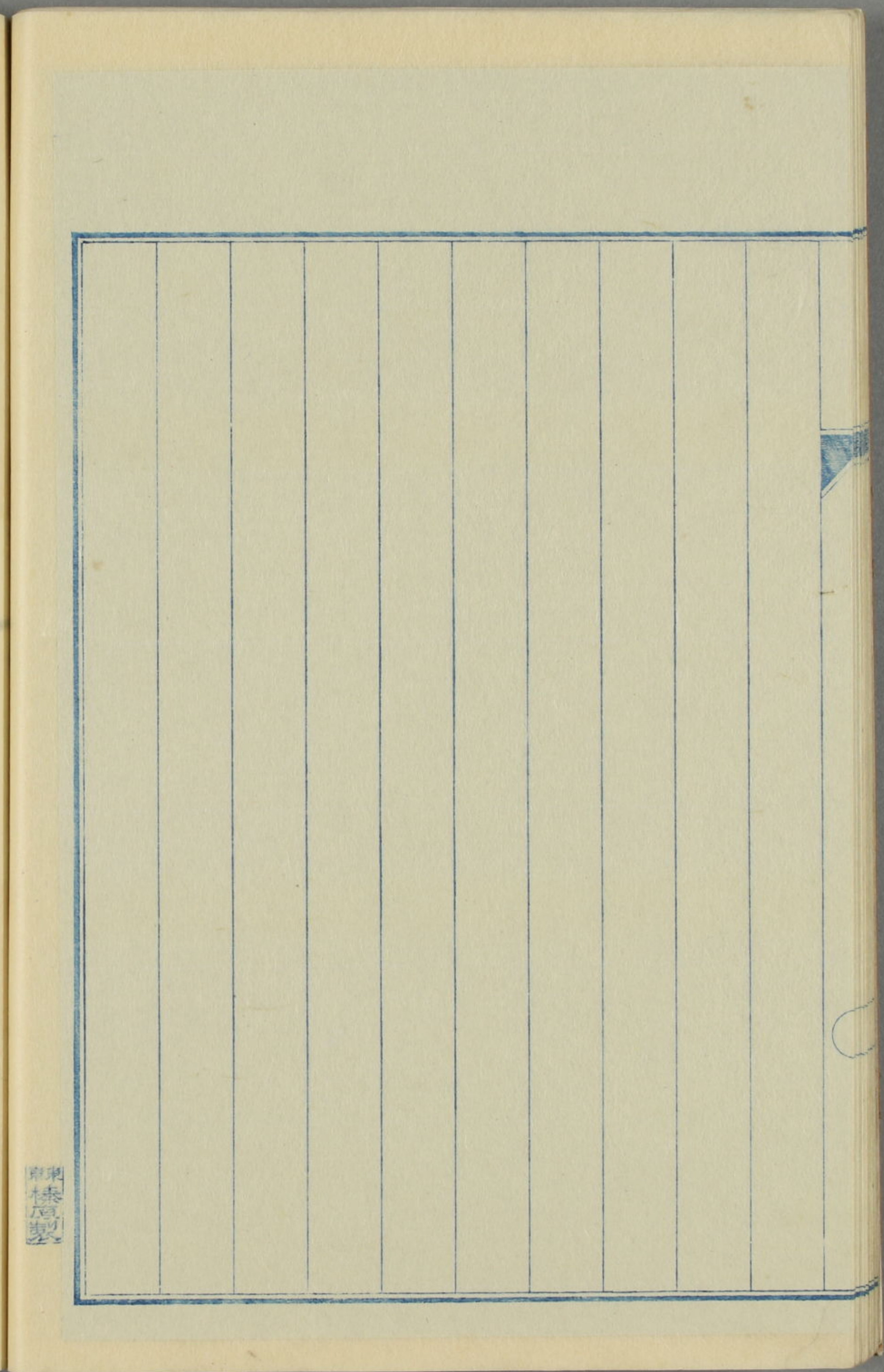
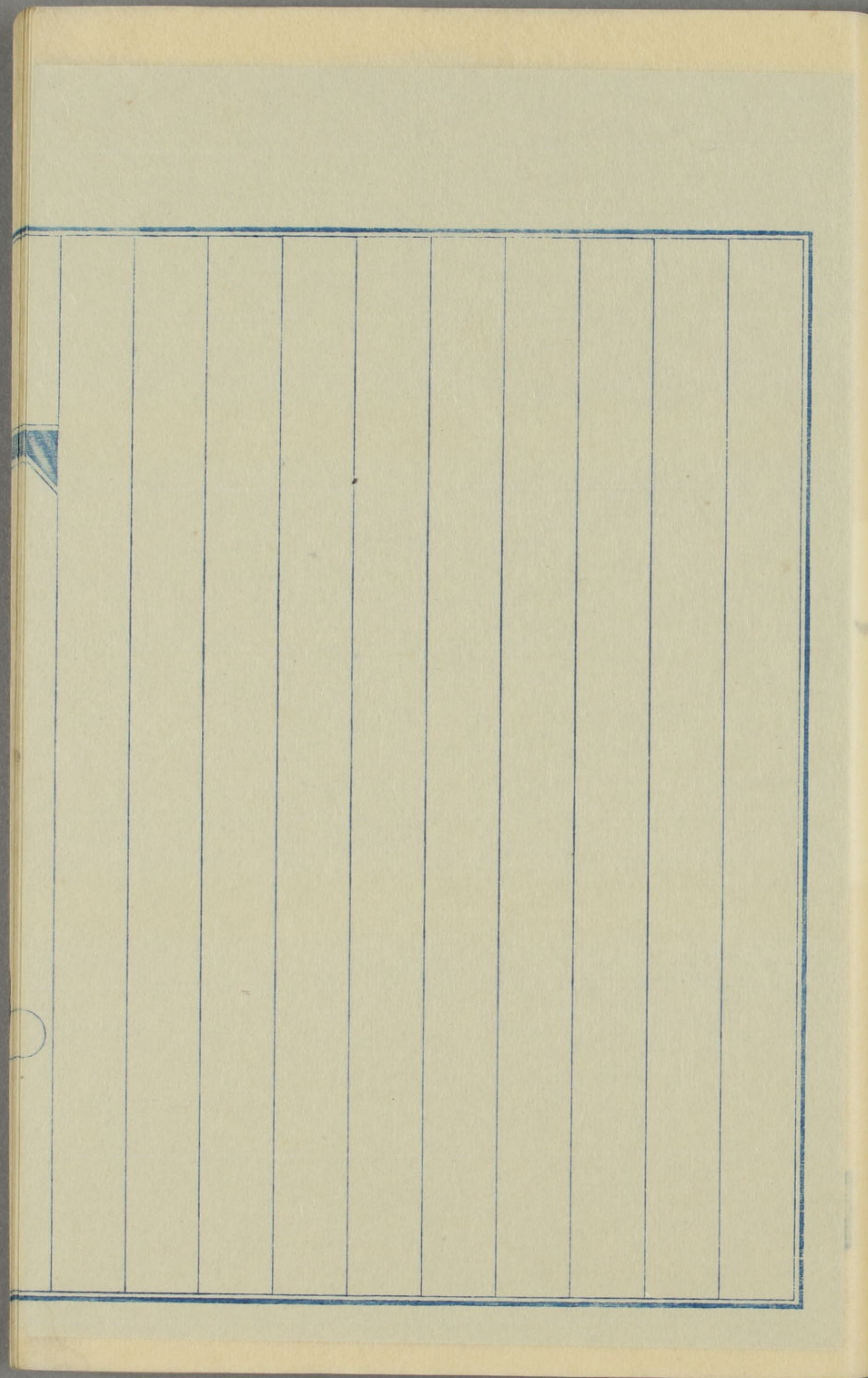
仁德天皇遷居難波号高津宮

大臣武内宿禰等死三百三十一歲

天皇百十歲崩

履仲反正元恭安康四帝五十七年

雄略天皇



以下全紙
白紙

東坡製